

製品名: NEIL2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14546**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	NEIL2
別名	
遺伝子 ID	252969.0
SwissProt ID	Q969S2
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

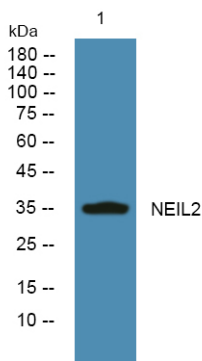
NEIL2 は、細菌の Fpg/Nei ファミリーと相同な DNA グリコシラーゼのクラスに属します。これらのグリコシラーゼは、活性酸素種によって損傷した塩基を切断し、関連するリアーゼ反応を介して DNA 鎖切断を引き起こすことで、塩基除去修復の最初のステップを

開始します (Bandaru et al., 2002 [PubMed 12509226]) [OMIM 提供、2008 年 3 月]。触媒活性: DNA から損傷した塩基を除去し、脱塩基部位を残します。触媒活性: DNA の非プリン部位または非ピリミジン部位の 3' にある C-O-P 結合は、ベータ脱離反応によって切断され、3' 末端に不飽和糖と、末端に 5' リン酸がある生成物が残ります。ドメイン: ジンクフィンガードメインは、DNA 結合に重要です。酵素調節: Lys-50 のアセチル化により、DNA ニッキング活性が失われます。Lys-154 のアセチル化は効果がない。機能: 酸化または変異原性物質によって損傷した DNA の塩基除去修復に関与する。5-ヒドロキシウラシルおよびその他のシトシン酸化誘導体に対して DNA グリコシラーゼ活性を有し、ミスマッチ二本鎖 DNA (DNA バブル) を優先的に処理する。チミングリコール、2-ヒドロキシアデニン、ヒポキサンチン、8-オキソグアニンに対しては DNA グリコシラーゼ活性が低いか、全く活性がない。AP (アプリン酸/アピリミジン酸) リアーゼ活性を有し、DNA 鎖に切断を導入する。β-デルタ脱離によって DNA バックボーンを切断し、除去された塩基の部位で 3'-リン酸と 5'-リン酸の両方を持つ一本鎖切断を生成します。類似性: FPG ファミリーに属します。類似性: 1 つの FPG 型ジンクフィンガーを含みます。サブユニット: EP300 に結合します。組織特異性: 精巣、骨格筋、心臓、脳、胎盤、肺、脾臓、腎臓、肝臓で検出されます。、

研究分野

塩基除去修復

画像データ



DU145 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、NEIL2 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩